

陸前高田発

駐日代表の課外授業



国連開発計画の近藤哲生駐日代表ら、国連にある5つの機関の日本事務所代表が被災地の現状を視察するため陸前高田市を訪れ、中学生を対象に課外授業を行いました。近藤代表らは高田東中学校で、今も世界には戦争や飢えに苦しむ国や地域がある現状を生徒たちに伝えました。5人の駐日代表は課外授業のほか、来年仙台で開催される「国連世界防災会議」のため陸前高田市内の仮設商店街なども視察しました。(2/21 ニュースエコー)

行いました。近藤代表らは高田東中学校で、今も世界には戦争や飢えに苦しむ国や地域がある現状を生徒たちに伝えました。5人の駐日代表は課外授業のほか、来年仙台で開催される「国連世界防災会議」のため陸前高田市内の仮設商店街なども視察しました。(2/21 ニュースエコー)

盛岡発

東北3県復興物産展

震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島の隠れた逸品を集めた期間限定のお店、東北3県復興物産展「HIKARI」が盛岡市内にオープンしました。全国商工会連合会が被災地の中小企業を応援しようと岩手・宮城・福島の3県で開店したもので、店内には、3県で生産された海産物の加工品やスイーツ、工芸品など、およそ500点が並んでいます。物産展は、盛岡市菜園の特設会場で、3月23日まで開催されます。(2/22 ニュース)



震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島の隠れた逸品を集めた期間限定のお店、東北3県復興物産展「HIKARI」が盛岡市内にオープンしました。全国商工会連合会が被災地の中小企業を応援しようと岩手・宮城・福島の3県で開店したもので、店内には、3県で生産された海産物の加工品やスイーツ、工芸品など、およそ500点が並んでいます。物産展は、盛岡市菜園の特設会場で、3月23日まで開催されます。(2/22 ニュース)

大槌発

被災地を巡る「きっかけバス」



全国の大学生が東日本大震災の被災地で、地元の生の声を聴き、ボランティア活動を通じて震災の教訓を学んだり、継続的な復興支援に役立てようというバスツアー「きっかけバス」が大槌町を訪れました。岩手県出身や県内の大学生38人が大槌町を訪れ、地元の人から被災直後の様子や現状について説明を受けました。「きっかけバス」は全国47都道府県の各県の地元の大学生たちを乗せ、合わせて47台が被災地を巡る計画です。(2/23 ニュース)

というバスツアー「きっかけバス」が大槌町を訪れました。岩手県出身や県内の大学生38人が大槌町を訪れ、地元の人から被災直後の様子や現状について説明を受けました。「きっかけバス」は全国47都道府県の各県の地元の大学生たちを乗せ、合わせて47台が被災地を巡る計画です。(2/23 ニュース)

大船渡発

ベンチとテーブルのプレゼント



大船渡市内のこども園と三陸鉄道の駅舎に、農林中央金庫が地元の「気仙スギ」を使った木製ベンチとテーブルを贈りました。復興支援プログラムの一環で、ベンチやテーブルの製作は気仙地方森林組合があたりました。無垢の美しい木目が特徴のベンチとテーブルは大船渡市三陸町の吉浜こども園のほか三陸鉄道南リアス線の盛駅など5つの駅舎に置かれる予定です。(2/24 ニュースエコー)

大船渡市内のこども園と三陸鉄道の駅舎に、農林中央金庫が地元の「気仙スギ」を使った木製ベンチとテーブルを贈りました。復興支援プログラムの一環で、ベンチやテーブルの製作は気仙地方森林組合があたりました。無垢の美しい木目が特徴のベンチとテーブルは大船渡市三陸町の吉浜こども園のほか三陸鉄道南リアス線の盛駅など5つの駅舎に置かれる予定です。(2/24 ニュースエコー)

宮古発

津波資料展示会

東日本大震災から間もなく3年となるのを前に、津波災害に関する資料を集めた展示会が宮古市立図書館で開催されています。館内には



明治、昭和の三陸大津波、チリ地震津波、そして東日本大震災と三陸沿岸を襲った津波について記録した資料や本、DVDなど合わせて224点が展示されています。過去の津波の歴史と向き合い防災、復興について見つめ直してもらおうと言うこの展示会。3月1日までは宮古市立図書館本館で、3月7日からは田老分室で開催されます。(2/26 ニュースエコー)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、『酔仙酒造大船渡蔵』から中継で伝えてくれました。酔仙酒造は陸前高田市内の社屋と蔵が被災し、現在は大船渡で生産を行っています。3月下旬に発売予定の「特別純米酒・多賀多(たかた)」は、米・水・杜氏とも地元でこだわり以前から人気があったもので、震災後3年ぶりの復活になります。酔仙酒造営業部の岡田喜美恵さんは「ぜひ皆さんも味わってみてください」と話していました。(2/26)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122